

女性研究者に対する英語論文投稿支援 公募要項

1. 趣旨

ダイバーシティ研究環境の実現・拡大に向け、女性研究者の研究力向上を図るため、文部科学省科学技術人材育成費補助事業「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ【牽引型】事業」の一環として、**女性研究者**を対象に、海外の国際的学術誌への**英語論文**の投稿、その採択論文関連研究の国際学会における発表、アウトリーチ活動等を支援します。

2. 支援対象及び応募条件

以下の条件を満たす者：

- (1) 申請者は投稿予定論文の第一著者 (first author) または責任著者 (corresponding author) であること。
- (2) 女性研究者であること (年齢制限は無し)。
研究者とは、本学の常勤教員、特任教員 (常勤)、特任研究員 (常勤) で、研究活動を職務に含んでいるもの。
- (3) 投稿誌での論文の採否が決定されるまで本学に在籍する予定であること。
- (4) 応募論文を本年度中 (平成 29 年 3 月 31 日まで) に**海外の国際的学術誌**に投稿する予定であること。
- (5) 応募論文は原則として 10,000 英単語以下の**オリジナル学術論文**であること (レビュー、本、会議発表のみを予定している論文は対象外)。
- (6) 校正のクオリティー等に関する評価、査読結果・学術誌変更等の報告に協力すること。また、支援の全過程において、手続きの円滑な遂行に協力すること。

3. 支援内容

学術英文校正業者への利用手続や校正費用の支援とともに※に、経営企画オフィス URA 部門(旧、大型教育研究プロジェクト支援室) のリサーチ・アドミニストレータ (URA) による個々の研究者に適した、継続的なサポートを以下のように行います。

- (1) 校正のクオリティーを保証するための URA による事前準備：論文概要及び著者の英文校正への希望等をもとに、英文の校正指示書を作ります。
- (2) 前述の指示書をもとに、学術英文校正業者のネイティブの専門家による論文校正。ご希望の場合投稿規定に沿ったフォーマットの修正、カバーレターの作成も対応できます。
- (3) 原稿提出日から 1 年間以内、再校正、投稿学術誌変更によるフォーマット変更等を受け付けます。

支援過程中 URA がコーディネーターとして随時連絡・相談に応じ、校正業者との交渉、その他アフターケアを支援します。

要望により、(4)~(7)のオプション支援の一部または全部を受けることもできます。

- (4) 博士号をもつ URA によるダブルチェックが受けられます。ただし、一週間程度 (申込多数の場合は一週間以上かかることもあります) の点検時間を要することをご了承ください。
- (5) 当該論文を国際会議でも発表する場合、URA による英語プレゼンテーション練習の支援、模擬質疑セッション等を行います。
- (6) URA による当該論文及び関連研究のアウトリーチ支援を行います。例：広報やサイエンス・カフェ
- (7) 学術英文校正業者を通して、海外の当該分野の専門家による投稿前ピアレビューが受けら

れます。ただし、支援の順番は、a) 投稿前ピアレビュー、b) ピアレビューに基づき、著者による原稿修正、c) 修正原稿の英文校正になります。一般の校正より数週間多く時間を要するため、必ず余裕を持ってご利用ください。

※ (1)～(4)については、原則として原稿提出日から1年間を支援期間とする。

(5)、(6)については、原則として原稿提出日から2年間を支援期間とする。

(7)については、原則として1論文につき1回のみ受けられる。

以上の全過程において、日本語・英語・中国語での相談に対応できます。ただし、申請書は日本語または英語で記入してください。

4. 注意事項

- (1) 学術誌の（形式や生命倫理ポリシーを含めた）投稿規定に沿うとともに、研究倫理に反する内容、不正引用、著作権の問題等がないよう、原稿を提出する前に必ず確認してください。
- (2) 共著論文の場合は全共著者の了解を得てから申請してください。
- (3) 原稿の英語は一定の水準に達していることが前提です。機械翻訳で作成された英語論文は受け付けません。
- (4) 投稿予定学術誌が変更になる場合は、あらかじめ相談してください。
- (5) 申請後、事情により支援が不要となった場合は直ちに連絡してください。
- (6) 支援決定後、本学から異動する場合、その時点で支援期間終了とします。
- (7) 原稿は WORD または TeX で作成されたもののみとします。
- (8) 論文原稿はこの支援にのみ用い、支援期間中、経営企画オフィス URA 部門が責任をもって預かり、管理します。
- (9) 校正業者は経営企画オフィス URA 部門が調査の上、選定した複数の業者から選ぶこととなります。
- (10) 支援は1人2件以内/年度(ただし、2件目は1件目が accept されてから受け付ける)。

5. 申請手続

- (1) 以下の締切日等を確認の上、投稿計画に合わせて申請してください。:

	受付期間	結果通知予定 (Eメールによる通知)	校正用原稿 提出締切
1回目	9月20日～30日(金)	10月7日(金)	10月31日(月)
2回目	10月20日～31日(月)	11月4日(金)	11月30日(水)
3回目	11月21日～30日(水)	12月9日(金)	12月20日(火)
4回目	12月20日～30日(金)	H29年1月13日(金)	1月31日(火)
5回目	H29年1月20日～31日(火)	2月3日(金)	2月28日(火)
6回目	2月13日～20日(月)	2月24日(金)	3月10日(金)

- (2) 提出書類及び申請方法

下記のオンラインフォームより申請してください。申請する際には原稿を提出する必要はありません。

(※研究大学強化促進事業：研究成果の国際的発信支援プログラムの申請フォームと共通です。)

<http://osku.jp/t051>

(3) 支援決定後の手続き

学術誌への投稿までの時間的余裕をもって、必ず各回の**原稿提出締切日までに**（上記5-(1)参照）、パスワードを付した校正用論文原稿（TeXの場合はソースファイルも含む）と投稿予定雑誌のサンプルファイル等を、指定するオンラインフォームにより送ってください。

6. 選考方法

下記の基準で、書面審査を経て、男女協働推進・社会学連携担当理事が採否を決定します。

(1) 投稿予定学術誌の国際的影響力（Web of Science または Scopus の収録学術誌が望ましい。）

(2) 応募論文の執筆状況

ご相談・お問い合わせは

【支援内容、申請について】

大阪大学 経営企画オフィス URA 部門
publication-support@lserp.osaka-u.ac.jp
内線（吹田）：4978（YAO）、4981（大屋）

【制度、その他全般について】

大阪大学 男女協働推進センター
diver-plp@ml.office.osaka-u.ac.jp
内線（吹田）：4760